

御前崎市国土強靱化計画意見募集の結果について

No.	項目	ご意見（概要）	回答
1	§.6 強靱化のための取り組み 3. 施策分野ごとの推進方針	地震で津波が発生した場合、新野川の河口は東の原発の防波堤と西の砂丘にぶつかり想定外の高さとなって遡上します。また、河口近くには、汚物の処理場等があり周辺が汚染され環境にもよくありません。 早急に対処してください。 他の地区の協力を待っていると前に進めません、皆で早く着手できるよう意見を出してもらってください。	津波対策につきましては、市として、ハードとソフト面の両方から対策を推進しております。新野川に限らず、市内の他の河川においても、津波による被害が想定されます。引き続き、河川の管理者である県などの関係機関と協議を進め、より良い対策を講じていきたいと考えております。
2	別紙2 重点プログラム	計画期間が令和8年度までとなっているが、重点プログラムの目標値は（R7）となっているのはなぜか。	記載間違いであるため、訂正いたします。
3	§.4 リスクシナリオの設定 1.予想される災害	予想される災害で、特に津波については最新の科学的根拠に基づいて想定しなければならない。現在の防災マップにおいても現状の地形等を反映していない箇所もあるので、市独自で最新の地形に基づくシミュレーションを行い、より正確なリスクを反映した防災・避難計画の推進を提案する。	現在、防災マップ等に反映されている津波の浸水予想等は静岡県第四次地震被害想定を基に記載しております。市独自のシミュレーションについては、現在の地形が想定当時から、どのくらいの変化があり、津波に対してどれだけの影響があるかも含めて、検討をしたいと考えております。
4	§.6 強靱化のための取り組み 1.国土強靱化に向けた方向性	強靱化のための取り組みで、特に「ハード対策とソフト対策の連携」と「地域防災力の強化、民間との連携」については賛同する。	今後も、災害に強いしなやかなまちを目指して、災害対策や関係機関との協議を進めてまいります。
5	§.6 強靱化のための取り組み 3.施策分野ごとの推進方針 3-4 くらし環境	防災人材の育成は、女性も必要であるが、男性も今まで以上に取り組む必要がある。児童生徒に対しても防災士養成講座を実施してほしい。	現在、市では、防災時の指導者的な方の育成として、各地区において防災指導員を任命し、各地区の防災について会議等を行っております。今後は、防災にかかわる人材のより専門的な知識等の向上や、新たな女性の防災士の育成、小中学生などに防災に対する啓発等を行っていききたいと考えております。

6	別紙 2 重点プログラム	プログラムの重点化において「⑦ー2 原子力防災対策の推進」を重点プログラムにしなかったのはなぜか。	国土強靱化計画の重点プログラムについては、特に市単独で推進し、ある程度明確な目標値を設置できる施策を重点プログラムとして指定おります。 原子力防災対策については、様々な機関との調整や協議が必要であり、市独自の目標値の設定等は、難しいことから、重点プログラムからは外しておりますが、引き続き必要な対策を推進していきます。
7	別紙 1 脆弱性の評価	脆弱性の評価において、広域避難所の収容能力の評価をしておく必要がある。御前崎中学校が御前崎市の広域避難所から外れているが、地元の町内会の合意の上のことか。もともと、収容能力が不足している中で替わる施設を考えておく必要があるのではないか。	現在、御前崎市では 19 か所の施設を広域避難所として指定しております。御前崎中学校については、いままで御前崎市において広域避難所として管理等をしておりましたが、市外の施設であったため、関係機関及び地元と協議を行い、牧之原市が避難所の運営を行うことになりました。 また、御前崎市の広域避難所の指定からは外れましたが、今まで通り、避難することが可能です。 市内の収容能力の不足につきましては、縁故避難やご自宅が無事な方については自宅避難なども推進し、そこに必要なソフト面でのサポートを充実させていきたいと考えております。
8	別紙 2 重点プログラム	重点プログラムにおいて、具体的な指標や目標値として防災訓練参加率が示されているが、地域の防災力の充実強化のためには、防災能力のある人材の養成が防災士資格の取得人数などを目標値とした方がよりよくなると思います。	御前崎市の国土強靱化を図るため、今回頂いたご意見も考慮し、今後、検討を行っていきたいと思います。